

指先から全身へ広がる皮膚症状と喘息を併発し 9 か月で喘息症状がみられなくなった成人アトピーの経過 (44 歳男性)

症例 ID：001-40-YH44 | 記録日：1999 年 11 月 28 日

1. 診断・治療前経過

指先に水疱とかゆみが出て皮がむけるようになり、アトピーと診断されてから約 6 年間、複数の医療機関でステロイド外用薬を使用しました。塗ると一時的に症状が目立たなくなる一方、2～3 日後には同じ部位に再び出る状態を繰り返しました。

その後、かゆみは指先から全身へ広がりました。幼少期から喘息もあり、アトピーと喘息の治療のため松本医院を受診しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	指先から全身へ広がった症状に対し、ステロイド外用薬を繰り返し使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	アトピーと診断されてから約 6 年間、断続的に使用しました。
中止時期	松本医院受診時に中止しました。
来院前／後	来院前に使用しました。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
診断後約 6 年間	来院前	ステロイド外用薬の使用と症状の再燃を繰り返し、かゆみが全身へ広がりました。
治療開始	治療開始	ステロイドを中止し、煎じ薬、外用処置、漢方入浴を開始しました。
開始約 1 か月	皮膚の変化	額が赤黒くなり、体は赤く腫れた状態となりました。
開始約 2 か月	症状の強い時期	顔が一晩で腫れ、全身のかゆみと痛み、黄色い浸出液が強くなりました。
開始約 3 か月	浸出症状	額から浸出液が続き、約 1 か月間タオルを巻いて生活しました。
開始約 5 か月	喘息の変化	風邪をひいた際にも喘息発作は出ませんでした。
開始約 9 か月	経過	喘息症状がみられなくなり、皮膚症状の治療を継続しました。
その後	通院終了	喘息症状と皮膚症状が落ち着き、継続的な来院はなくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始 2～4 か月頃に、顔の腫れ、全身の強いかゆみと痛み、黄色い浸出液が重なり、額にタオルを巻いて勤務していた時期です。

5. 困りごと

- 顔の腫れがある状態で勤務を続けました。
- 風が当たるだけで強い痛みがあり、仕事でも耐える必要がありました。
- 額から浸出液が続き、約 1 か月間タオルを巻いて生活しました。

- ・幼少期から喘息発作も繰り返していました。

7. 経過のまとめ

全身の強いかゆみ、痛み、浸出症状が続く時期を経ましたが、治療開始約 5 か月後には風邪をひいても喘息発作が出ず、約 9 か月後には喘息症状がみられなくなりました。

その後は皮膚症状も落ち着き、継続的な来院はなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。